

平成30年度

奈良県公立高等学校入学者一般選抜学力検査問題

数 学

注 意

- 1 指示があるまで開いてはいけません。
- 2 解答用紙には，受検番号を忘れないように書きなさい。
- 3 解答用紙の※印のところには，何も書いてはいけません。
- 4 答えは必ず解答用紙に書きなさい。

1 次の各問いに答えよ。

(1) 次の①～④を計算せよ。

① $3 - (-5)$

② $4 \times (-3)^2$

③ $12a^2b^2 \div (-6ab) \div \frac{1}{2}ab$

④ $(x+4)(x+5) - (x+3)(x-3)$

(2) 2次方程式 $2x^2 + 5x + 1 = 0$ を解け。

(3) 「 a 個のお菓子を b 人に 3 個ずつ配ると 2 個余る」という数量の関係を表した式が、次のア～エの中に 1 つある。その式を選び、ア～エの記号で答えよ。

ア $a = 3b + 2$

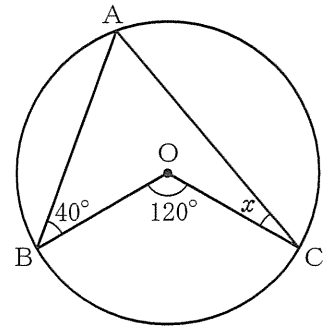
イ $a = 3b - 2$

ウ $\frac{a}{3} = b + 2$

エ $a + 3b = 2$

(4) 図 1 で、3 点 A, B, C は円 O の周上にある。 $\angle x$ の大きさを求めよ。

図 1



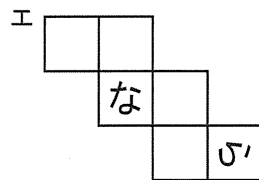
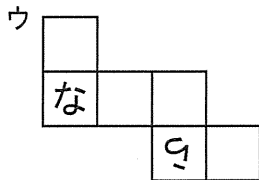
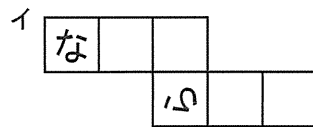
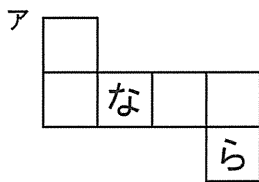
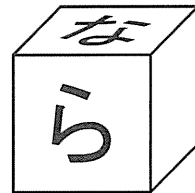
(5) $5 < \sqrt{a} < 6$ を満たす自然数 a は何個あるか。

(6) 1 から 9 までの 9 つの自然数から異なる 4 つの数を選んで、その積を求めると 560 になった。この 4 つの数求めよ。

(7) 2 個のさいころを同時に投げるとき、少なくとも 1 個は 5 以上の目が出る確率を求めよ。

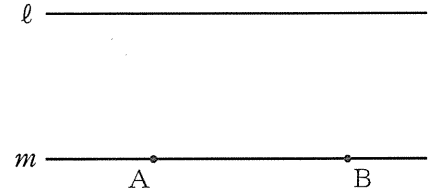
(8) 図 2 のように、「な」「ら」とかかれた立方体がある。次のア～エの立方体の展開図の中に、組み立てると図 2 の立方体ができるものが 1 つある。その展開図を選び、ア～エの記号で答えよ。

図 2



(9) 図3のように、平行な2直線 l , m があり、 m 上に2点A, Bがある。次の条件①, ②を満たす点Pを、定規とコンパスを使って解答欄の枠内に作図せよ。なお、作図に使った線は消さずに残しておくこと。

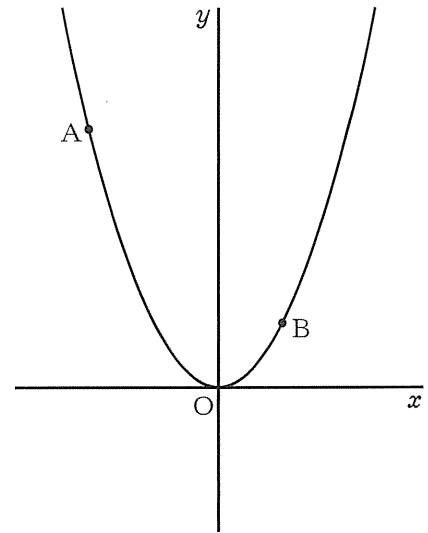
図3



[条件]

- ① 点Pは、直線 l 上にある。
- ② $\angle PAB = 45^\circ$ である。

2 右の図の放物線は、関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフであり、点Oは原点である。2点A, Bは放物線上の点であり、その座標はそれぞれ $(-4, 8)$, $(2, 2)$ である。各問いに答えよ。



(1) 関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ について、 x の変域が $-4 \leq x \leq 2$ のときの y の変域を求めよ。

(2) 次のア～オの関数のうち、そのグラフを右の図にかき入れたとき、グラフが線分ABと交わるものを、次のア～オからすべて選び、その記号を書け。

ア $y = \frac{1}{2}x$

イ $y = \frac{6}{x}$

ウ $y = 3x + 2$

エ $y = 2x^2$

オ $y = \frac{1}{4}x^2$

(3) 点Aを通り x 軸に平行な直線と y 軸との交点をC、点Bを通り x 軸に平行な直線と放物線との交点のうち、Bと異なる点をDとする。このとき、点Oを通り四角形ADBCの面積を2等分する直線の式を求めよ。

(4) $\triangle AOB$ を、 x 軸を軸として1回転させてできる立体の体積を求めよ。ただし、円周率は π とする。

3 太郎さんと花子さんは、「正方形の紙の1辺を3等分する方法」について調べた。下の図は、2人がそれぞれ調べた方法をまとめたものである。後の問いに答えよ。

〔太郎さんが調べた方法〕

1本目
2本目
3本目
4本目

ノートの罫線を使う。

- 1辺の両端がそれぞれ1本目、4本目の罫線と重なるように紙を置く。
- 辺と2本目、3本目の罫線が交わる部分に印を付ける。

付けた印で1辺が3等分される。

〔花子さんが調べた方法〕

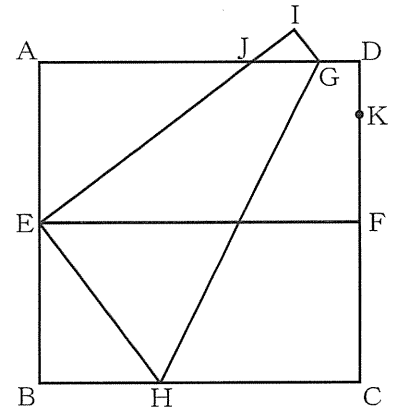
- ① 上の辺に、下の辺が重なるように紙を折る。
- ② ①で付けた折り目の左端に、右下の頂点が重なるように紙を折り、右の辺と上の辺が交わる部分に印を付ける。
- ③ ②で付けた印に、左上の頂点が重なるように紙を折る。

③で付けた印と②で付けた折り目の上端で上の辺が3等分される。

(1) 太郎さんが調べた方法で、正方形の紙の1辺が3等分されることを証明するとき根拠となるものは、次のア～エのうちどれか。最も適切なものを1つ選び、その記号を書け。

- ア 三平方の定理 イ 平行線と線分の比
ウ 円周角の定理の逆 エ 相似な図形の相似比と面積比

(2) 花子さんが調べた方法で付けた印が、正方形の紙の1辺を3等分する点の1つであることを、2人は右の図をかいて考えた。四角形ABCDは正方形で、点Eは辺ABの中点、点Fは辺CDの中点である。点Gは辺AD上、点Hは辺BC上にあり、四角形GHCDと四角形GHEIは直線GHについて対称である。また、点Jは辺ADと線分EIとの交点で、辺CD上の点Kは点Jと直線GHについて対称である。次の会話と2人が考えたことを読み、①、②の問いに答えよ。



太郎：点Jが辺ADを3等分する点の1つといえるなら、正方形の1辺の長さを1とすると、線分JDの長さが ㉔ になればいいんだよね。

花子：じゃあ、線分JDの長さを x とおいてつくった方程式の解が ㉕ になるといいのかな。

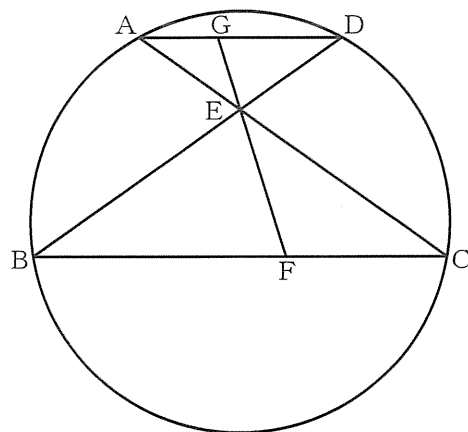
2人は対称な図形の性質や相似な図形の性質を使って考えた。

AD=1とする。JD= x とおくと、DK= ㉖ と表すことができる。

$\triangle AEJ$ は直角三角形より、 ㉗ が成り立つ。これを解くと、 $0 < x < 1$ より、 $x =$ ㉘ よって、点Jは辺ADを3等分する点の1つといえる。

- ① ㉔ に当てはまる数、㉖ に当てはまる式を、それぞれ書け。
② ㉗ に当てはまる、 x についての方程式を書け。

4 右の図で、4点A, B, C, Dは円周上にあり、 $AD \parallel BC$ で、点Eは直線ACと直線BDとの交点である。点Fは線分BC上の点で $BE = BF$ であり、点Gは直線EFと直線ADとの交点である。 $AD = 6\text{ cm}$, $BC = 12\text{ cm}$, $AC = 11\text{ cm}$ のとき、各問いに答えよ。



- (1) $\triangle AEG \sim \triangle CEF$ を証明せよ。
- (2) $\angle ECF = a^\circ$ とするとき、 $\angle CEF$ の大きさを a を用いて表せ。
- (3) 線分ABの長さを求めよ。
- (4) $\triangle ABE$ の面積は $\triangle AEG$ の面積の何倍か。